

会 議 録

会議名	平成25年度 第5回 相模原市経営評価委員会		
事務局	企画部 経営監理課		
開催日時	平成25年11月5日(火曜日) 午後6時00分～午後7時45分		
開催場所	市役所本庁舎 本館2階 第1特別会議室		
出席者	委員	出席委員10人(別紙のとおり)	
	市	企画部長	
	事務局	5人(経営監理課長 他4人)	
公開の可否	公開可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由	/		
会議次第	<ul style="list-style-type: none"> 1 傍聴者確認 2 議事 <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成24年度アクションプランの評価について (2) その他 		

主な内容は次のとおり。

- 1 傍聴者確認
- 2 議事
 - (1) 平成24年度アクションプランの評価について
平成24年度取組結果評価に関する建議書(案)の説明を行い、
質疑を行った。
 - (2) その他
平成25年度事務事業評価に関する建議書(案)の報告を行った。

(以下質疑応答・意見交換 委員の発言、事務局の発言)

(1) 平成24年度アクションプランの評価について

事務局にて作成した建議書(案)は、委員の皆様から頂いたご意見をもとに作成している。本日は、特に、評価を変更するものを中心にご審議をいただきたい。また、5ページの取組全体に関する事、評価にあたっての課題等について、記載する内容のご意見をいただき、修正したい。

取組番号9について、委員会評価をC評価とするのであれば、委員会としても採点基準に則って、10点以下にしないといけない。目標達成度が10点であれば、進捗度を0点にするという評価をしなければならないのではないか。

採点については、所管課により判断している。取組番号9については、結果的に団体数の削減が目標数を上回ったが、関与基準の策定には至らなかったため、進捗度が0点であるというも仕方がないと思う。採点を評価の根拠とするのは確かに必要ではあるが、過去の委員会では点数まで変更をしていない。評価に対する意見にてC評価とすることを盛り込むこととしたい。

局が点数により評価を実施しているのであれば、委員会としてその評価が妥当であるかを判断するためには、点数によって評価をすべきである。評価を変更するのであれば、なぜ変更したのかを明確にし、フィードバックすべきである。

評価を変更する根拠として、進捗度、または目標達成度の評価のどこが要因で変更に至ったのかを明確にしてA～Dの評価を行うというのはいかがか。

委員会として何を判断基準に評価を実施したかが明確になるのであれば、その方法でもよい。

評価については、委員会評価をC評価とし、その理由を意見欄に明記することによりと思う。

取組番号16については、今後進めていく上で、適正化の観点を強調して進めていくのか、又は市民へのサービスに影響がないように慎重に進めていくのかといった意見が出されているので、委員会としての意見をまとめてほしい。

市民が主権者であることは間違いがないが、納税者であるからといって原価に見合った価格にしなくてもよいということではないと思う。考え方が誤った方向に進んでしまうこともあるので、あくまでも、受益者負担の基準をしっかりと示した上で、対応していくこととしたほうがよいのではないかと。

納税者であるから原価に見合った価格にしなくてもよいということではなく、しっかりと市民に説明責任を果たした上で実施していくべきことだと考えており、具体的には、然るべき手続を踏んで、進めていくことだと考えている。

受益と負担の適正化の観点で進めていくとともに、市民への説明と所要の手続をしっかりと行うという内容で、委員会の意見とさせていただきます。

取組番号28について、PPPの導入に関する活用指針はすでにできているのか。

素案はできているので、今年度中に庁議を経て策定を目指している。今回の評価はあくまでも昨年を取組に対する評価なので、指針の策定に至らなかったが、素案まではできあがっているため、進捗度を4点とした。

達成目標についても指針があつてこそ、新たな民間のノウハウを活用した事業が展開できるものであるので、低く評価している。

すでに民間活力の導入事例があり、法改正も今後進んでいくことから、新たに指針を策定するかどうかも含めて、よく検討した方がよいと考える。

都市経営指針にも組み込まれており、策定しないというのは難しいと考えている。また、新たな事業手法も含まれているので、事務局としては早期策定を目指していきたいと考えている。

PPPについてはノウハウを蓄積することが大切であり、魅力のあるような事業を募集する必要がある。事業の規模を問わず、まずは実績を作るためにも指針の早期策定が望まれる。

法改正を理由に策定ができないというのはおかしい。細かな部分は都度変わっていくので、まずは市として大枠のルールを策定すべきである。

評価については、指針に基づく達成目標の実績がないことから委員会評価をD評価とする。

取組番号61について、方針に対する意見を記載する上で、有料化を優先すべき施設等があればご意見いただきたい。

市役所周辺駐車場以外の駐車場についても、各施設の設置目的や状況を分析したうえで、有料化の検討をしていただきたいと考えている。

原案のとおり、委員会の意見とさせていただきます。

その他、特記事項について、改善効果額を算出する際に人件費も含めるとなると、等級毎に人件費が異なるなどの問題から、評価があいまいになってしまうと考える。

現在、市では人件費は職員の平均給与で算出しており、これを使用することが一般的であると考えている。改善効果額に人件費を反映するのであれば、これを用いることになると思う。

アクションプランにおいて、委員会が何を評価するのか明確でないといけない。進捗度を評価するのであれば、進捗について説明をしていただく必要があるし、その説明が明確であるかを判断する必要がある。よって、委員会の評価の活用方法を明確にしていきたい。

建議書(案)は評価する上で得点の記載がないが、何を基準に評価したのかを明確にすべきであり、本欄にもそういった記載が必要であると考えている。

いただいた意見については建議書へ記載し、今後、シートの仕様も含めて検討したい。

(2) その他

事務事業評価に関する建議書(案)について、P18の意見の欄に修正などがあればご意見をいただきたい。また、次回の委員会開催を平成26年2月頃とする。

以上

相模原市経営評価委員会委員名簿

氏名	所属団体等	出欠
山口 由紀子	相模女子大学教授	出
川崎 一泰	東洋大学経済学部教授	出
出雲 明子	東海大学准教授	出
霧生 卓	公認会計士	出
田所 昌訓	相模原市自治会連合会	出
長谷川 光明	相模原商工会議所	出
大島 浩之	公募委員	出
西村 初代	公募委員	出
芳賀 貞江	公募委員	出
安田 隆春	公募委員	出